

# 日本一の先生になる努力をする

# 清流大川

羽地中学校  
学校だより 57号  
せいりゅうおおかわ  
H30. 7. 4



「まな板の上の鯉」になれ、新採の  
頃先輩方から言われた言葉です。  
研究授業は進んでやりなさいと言っ  
てです。  
力がないのは分かっている。だから  
こそ授業を公開することで少しづつ力  
がついてくる。今やらないと、後々大  
きな後悔をすることになる。と、自ら  
進んで研究授業を実践する先輩達に後  
押しされるように、10年研が終わる  
まで毎年、年2回ほど研究授業をこな  
してきました。  
その間に指導要領が改訂されたり、  
パソコンの登場、評価方法の変化など、  
めまぐるしく教育が変化する時代を過  
ごしました。  
常に研鑽を続けないと、これからの  
教育を担うことが出来ない、そんな焦  
りにも似た気持ちで一杯でした。  
また、ある校長先生から「もし、君  
がこの学校に赴任しなれば、君の替  
わりに日本一の先生が赴任したかも知  
れない。生徒達は日本一の先生に教わ  
れる機会に恵まれたかも知れない。し  
かし、生徒達は先生を選ぶことは出来

ない。それなら、君が日本一の先生に  
なる努力をすることが、生徒達に対し  
て出来る最高のことではないか。」と  
言われました。  
この2つのことが教師としての今の  
自分を造った基になったものだと思います。  
人より良い授業が出来たかとか、  
日本一の先生になった訳ではありません  
ん。若い頃「まな板の上の鯉」になり、  
色々先輩方から評価され、アドバイス  
されたこと。そのことから逃げなかつ  
たこと、少なくとも自分なりに信念を  
持ってこれまでやってこられたこと  
に、少しは安心していきます。

研究授業が決まると、その年の4月  
からどんな授業をすればいいのかわか  
らぬ思い悩む時は眠れないこともありま  
した。その気持ちは今も変わりません。  
慣れることがないのです。  
今度、校内研修で研究授業を打つ先  
生方、授業をするまでのその心が、痛  
いほど分かります。その努力が、生徒  
達のためであり、自分自身のためであ  
ると思います。本当に感謝の気持ちで  
一杯です。これからも、「まな板の上  
の鯉」になる勇氣を持ち続けてほしい  
と願います。

教頭先生が職員向けに定期的に発行さ  
れている「職員室の窓」で研修について  
心に響く内容が掲載されていましたの  
で、紹介します。  
学校生活の中心である授業は教師の腕  
の見せどころであり、生徒にも学びに向  
かう力や姿勢が必要です。研究授業は、  
組上に載せることで、教師と生徒の互い  
の力をつけてくれる場所なのです。



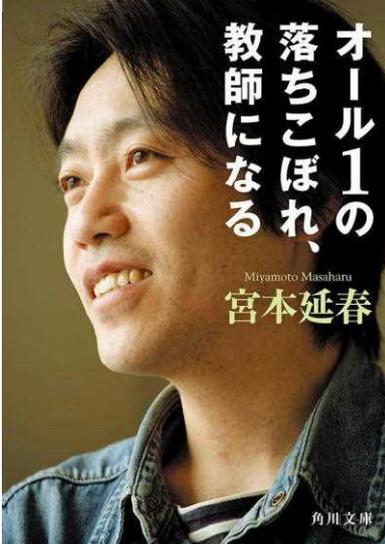
英語単語テスト  
満点の人

Unit	1組	2組	3組
1-1	8	15	10
1-2	12	20	14
1-3	22	23	24



# 目標に向かって努力していくことが学ぶ意味だ

# お勧め本



中学校の通知票は「オール1」。中3の時の学  
力は、漢字は名前しか書けず、英語の単語で知っ  
ているのが000sだけ。数学の九九は2の段ま  
でしか言えない、落ちこぼれがみ出した「オ  
ール1」からの勉強法。  
いじめ、ひきこもりのどん底からアインシユタ  
インのビデオに触発されて一念発起。中卒で働き  
ながら勉強して超難関の国立大学に合格。奇跡  
の教師となるまでの涙と感動の物語を紹介した話  
題のベストセラー。〈裏表紙より〉  
いじめや両親の病死、学習する意味も分から  
ず、かけ算九九も2の段まで、天涯孤独な作者  
が、どん底の生活環境に立ち向かい、逆境を乗り越  
え、難関大学に合格し、やがて高校教師となる  
ドキュメンタリーです。  
宮本先生は言います。「スポーツで準備運動す  
るように、自分で目標を見つけたときに、すぐに  
行動に移せるように、学校で準備運動をやってい  
るのが学びだ。それが学校で勉強する意味であ  
り、学校の役目だ。将来に何の役に立つとは思え  
なくても、この準備運動のメニューを着実にこな  
していくことが、学校の勉強なのです。」と振り  
返る。周りで支えた人達も重要だ。  
読みやすく、中高生にもお勧めです。巻末には  
独自の学習方法も書かれています。